



生徒指導部から

==未来の花を咲かせるために==

2025年10月17日

大運動会、かっこよかったな。さすが鹿工生、あなた方の姿に、また力をもりました。

10月は「神無月」、伊勢神宮内宮の天照大神以外の神々が出雲に集まり、出雲以外には神々がいなくなるから、と言われていました。もっともらしく語られているこの説は、実は、出雲大社の御師が平安時代に広めたもので、根拠のない（語呂合わせで考えた）民間語源なのだそうです。有力な説は、6月が雨の多い「水の月」＝「水無月」であるのと同じ、「無」は「の」として使われ、豊穰に感謝するお祭りの多い10月を「神の月」＝「神無月」としたというものです。日本人は古くから八百万の神々を身の回りに感じながら、生活の規範を作り、祈りを捧げてきました。あなた方の身の回りにいるたくさんの人も、ことあるごとにあなた方の健やかな成長を祈ってくれたはずです。

今、高校生活でいろいろなことに頑張っているのは、あなた方自身ですが、そうできるように祈り、支えてきてくれた身の回りの人の存在に感謝すべきだと思います。そんな人たちの思いをしっかりと受け止めて、自分の決めた目標を叶えるために前へ前へと力強く進んでほしいと願います。「誰かのために祈る、誰かを支える」、そんな素敵な「人を思いやる輪」が増えるといいな、と思います。

まじめに・・・ひたすら、まじめに。

本校には、勉強や部活動、資格取得などにまじめに頑張っている人がたくさんいます。すぐには結果が出なくても、こつこつ、まじめに。見習うべき姿です。

とても寂しいことですが、ときどき、そんなまじめさを笑う人がいます。まじめに取り組んで失敗した人を小馬鹿にする人がいます。

「まじめに取り組むこと」について、少し考えてみましょう。

毎日着ている制服
履いている靴
持ってくる鞆
乗ってくる自転車
授業で使う筆記用具



身の回りのものはすべて、誰かがまじめにした仕事で、できた製品です。不真面目にいい加減に作られたものをわざわざ買って使おうという人はいません。不真面目にいい加減な接客をする飲食店に行こうと思う人はいません。不真面目に危険な運転をするバスになんか乗りたくありません。私たちの生活は、すべて「まじめに取り組むこと」の上に成り立っているのです。

まじめさを笑う人は、きっと、自分が不真面目なものをあてがわれたり、不真面目な対応をされたら人一倍腹を立てる人です。世の中が、自分自身が、まじめな人たちに支えられていることに気づかない幼稚な精神構造の持ち主なのです。



大運動会も終わり、次は鹿工祭です。各クラスで全員がそれぞれの役割にまじめに取り組まなくてはなりません。間違っても、まじめに頑張っている人を尻目に怠けるようなことがあってはいけません。人任せの姿勢が身についてしまうと、就職、進学後に自分が苦勞することになります。何もわからない中では、自分から先輩や上司に質問し、やるべきことを見付けて、教えてもらいながらやってみる積極的な姿勢が必要です。何よりも、まじめに取り組むことが基本です。

そしてもし、まじめを小馬鹿にされるようなことがあったら、まじめであることが世の中では当たり前のことだと自信を持ってください。

来週は、鹿工祭準備期間に入ります。クラス一丸、まじめに頑張った成果を展示やステージで思い切り披露してください。

【心に留めておきたい言葉】

「やっておいてよかった」と「やっておけばよかった」は、わずか2文字の差。

でも、その差はどこまでも大きく、いろいろな人を見ると、手遅れになってから「やっておけばよかった」と言って悔いを残す人が多い。楽に流されようとする自分を励まして、「やっておいてよかった」という道を歩みたいものです。

イエローハット創業者 鍵山秀三郎氏